

公 共

設 計 図 書
(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2026 年度施行

留萌港古丹浜ふ頭-10m岸壁防食改修工事

留萌市

特 記 仕 様 書

特記仕様書

- 20 一般事項
01 適用
01 共通仕様書
- 当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。
- 02 土木工事積算基準等
- 1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。
- (1) 一般土木工事
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
- 2 「土木工事積算基準」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。
- (1) 機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。
 - (2) 特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。
 - (3) 上記(1)(2)については、受注者の任意施工を拘束するものではない。
ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。
- 3 「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き」及び「下水道工事工種体系化の手引き」において定めている事項を、設計図書の規格・摘要欄に明示しているが現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。
- 4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。
- (1) 一般土木工事
「土木工事数量算出要領」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
- 04 非契約数量
- 工事数量総括表の単位及び数量が（ ）で表記されている数量（摘要を含む）は、契約事項とならない数量である。
ただし、契約数量に連動して数量の確定や現場条件変更等が生じた場合には、必要に応じて設計変更する。

特記仕様書

08 現場環境改善(選択) 漁港

1 現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施することを目的とする。

2 現場環境改善の実施内容は、次の各項目（仮設費関係、安全費関係、営繕費関係、役務費関係、防災・危機管理関係、担い手育成関係）から選択することとし、具体的な実施内容や実施時期については、施工計画書を提出する時に工事監督員と協議すること。

（１）仮設費関係

- (1) 垂れ幕（横断幕）
- (2) 工事看板（説明板・案内板・PR看板）
- (3) 緑化・花壇（椅子・ベンチ含む）
- (4) ライトアップ

（２）安全費関係

- (1) 器具美装化（バリケード）
 - (2) 器具美装化（転落防止柵（足場・安全ネット））
 - (3) 器具美装化（工事標識）
 - (4) 器具美装化（安全標識）
 - (5) 器具美装化（照明）
 - (6) 器具美装化（安全機器（カラーコーン・回転灯））
 - (7) 器具美装化（安全具（救命胴衣・救命浮環・ヘルメット・安全靴・安全帯・消火器））
 - (8) 清掃費
 - (9) 熱中症予防（暑さ測定器具、遮光ネット、ドライミスト発生器具、ミスト扇風機、作業場用大型扇風機、送風機、エアコン、給水器、シャワー室、冷蔵庫、製氷機、自動販売機、日除けテント、簡易休憩所、休息車、クーラーボックス、熱中症対策バンド）
 - (10) 防寒対策（暖房設備、防寒服、防寒具）
- ※(9)、(10)の()内の項目以外における現場の施設や設備に対する熱中症予防・防寒対策については、別途現場環境改善費にて積み上げ計上を行う事ができる

（３）営繕費関係

- (1) 設備美装化（現場事務所・現場休憩所・作業員宿舎）
- (2) インフォメーション施設の設置及び管理運営
- (3) 行事の開催

（４）役務関係

特記仕様書

- (1) 現場環境改善に係る土地借上げ及び道路等の占用に要する費用
 - (5) 防災・危機管理関係
 - (1) 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）に使用する作業船・重機の燃料費
 - (2) 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）に使用する作業船・重機の回航えい航費・運搬費
 - (3) 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）に使用する資機材の費用
 - (6) 担い手育成関係
 - (1) 現場見学会の開催・見学用設備
 - (2) パンフレット・工法説明ビデオ
 - (3) 出張講座の資料作成
 - 3 工事完了時には、現場環境改善の実施状況が確認できる写真を提出すること。
- 101 工事工程の共有について
- 受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリティカルパスを含む）を作成し、監督員と共有すること。
- 工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。
- 施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。
- ① 受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
 - ② 著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生した場合
 - ③ 工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
 - ④ 資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
 - ⑤ その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合
- 21 工程関係
- 03 施工の制限内容
- 01 時間的制約を求められた場合の報告
- 当該工事の施工に当たり、関係機関・自治体等から通勤・通学の時間帯や周辺地域の状況により、時間的制約等を求められた場合には、工事監督員に報告すること。
- 11 中間検査
- 01 中間検査
- 1 当該工事は、次の段階で中間検査を実施する。
- 検査対象：北海道建設部土木工事共通仕様書第1編第1章1-1-1-27中間検査を準用し、工事監督員と協議のうえ、施工計画書に

特記仕様書

明記すること。

なお、上記以外で、必要に応じて中間検査を追加することがあるが、その時は事前に受注者へ通知する。

- 2 中間検査の実施に当たっては、実施可能日の7日前までに工事監督員に報告すること。

13 週休2日工事

02 週休2日工事【現場閉所】の実施について【漁港工事】

1. 本工事は、月単位の「週休2日工事」の対象工事である。
2. 受注者が月単位の週休2日の施工を行う希望がある場合、工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日に取り組む旨の協議を行い、協議が整った場合に月単位の週休2日での施工を行う工事である。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による施工に努めること。
3. 月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、土日・祝日に関わらず、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状況をいう。

対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は対象期間に含まない。工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
4. 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
5. 月単位の週休2日とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、28.5%以上を達成しているものとみなす。

通期の週休2日とは、対象期間内の現場閉所率が、28.5%の水準の状態をいう。
6. 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
7. 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - 1) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
 - 2) 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
8. 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
9. その他の事項については、留萌市が定める週休2日工事に関する実施要領によるものとする。

23 公害関係

特記仕様書

- 01 公害防止の指定内容
- 11 排出ガス対策型建設機械の使用
当該工事は排出ガス対策型建設機械を使用することとしているが、使用できない場合は設計変更の対象とする。
- 24 安全対策関係
- 01 交通安全施設の指定
- 06 バリケード等の設置、誘導警備員の配置
当該工事箇所には、第三者が工事区域内へ侵入しないようにバリケード・保安灯を設置すること。
また、配置については、北海道開発局保安施設設置標準図に基づき適正に配置すること。
- 102 検査等に合格した場合における瑕疵担保の取扱い
検査（中間検査・完成検査）、段階確認、落橋防止装置等を対象とした抜き打ち非破壊試験検査に合格しても、後に施工不良等が判明した場合は、受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。
- 103 現場代理人の常駐義務緩和について
- 1 現場代理人は、原則として当該建設工事の着手日から完成届の受理日まで工事現場に常駐し、運営取締りを行うものとする。
ただし、次のいずれかに該当する期間は、工事現場に常駐を要しないことができるものとする。
（１）契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
（２）建設工事の全部を一時中止している期間
（３）上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
 - 2 次の各号のすべてに該当する場合に、現場代理人の兼務を認めるものとする。ただし、現場の状況等を考慮し、現場代理人を兼務することが適当でないと認めたときは、この限りでない。
（１）兼務する建設工事の請負代金額の合計が４，５００万円（建築工事は９，０００万円）未満であること。
（２）兼務ができる工事は、原則３件以内であること。ただし、災害復旧工事については、別途協議により決定する。
（３）工事場所が原則留萌市内で、公共工事であること。（他発注機関の工事との兼任の場合は、他発注機関が認めていること。）
（４）工事監督員と常に連絡が取れる体制を確保できること（携帯電話や連絡責任者の配置）。
（５）現場代理人は、兼務するいずれかの工事現場に常駐すること。
 - 3 受注者は、同一の現場代理人を複数工事現場に配置しようとする場合は、現場代理人兼務届出書（別途様式第１号）を、市長に提出するものとする。

概数として扱う数量一覧表<データ無し>

[illegible]

工 事 数 量 総 括 表

工事名 留萌港古丹浜ふ頭-10m岸壁防食改修工事

留萌市

工事数量総括表

		工事名	留萌港古丹浜ふ頭-10m岸壁防食改修工事				(当 初)	事業区分	漁港整備		
								工事区分	護岸・岸壁・物揚場		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
								現場条件		単位	数量
護岸・岸壁・物揚場				式		1					
維持補修工				式		1					
防食工				式		1					
電気防食			アルミニウム合金陽極 50年-2.0A型 【アルミニウム合金陽極 50年-2.0A型 】	個		50		< 1 個当たり > 取付金具製作 取付金具取付 陽極取付	組 組 個	1 1 1	
直接工事費				式		1					
共通仮設費				式		1					
共通仮設費				式		1					
現場環境改善費(率計上)				式		1					
共通仮設費(率計上)				式		1					

工事数量総括表

		工事名	留萌港古丹浜ふ頭-10m岸壁防食改修工事			(当 初)	事業区分	漁港整備	
						工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
							現場条件		単位
純工事費			式		1				
現場管理費			式		1				
工事原価			式		1				
一般管理費等			式		1				
工事価格			式		1				
消費税相当額			式		1				
工事費計			式		1				

位 置 図

位置図

工事名	留萌港古丹浜ふ頭-10m岸壁防食改修工事					
施工箇所	留萌港 古丹浜地区					
範囲	起 点	北緯	東経	終 点	北緯	東経

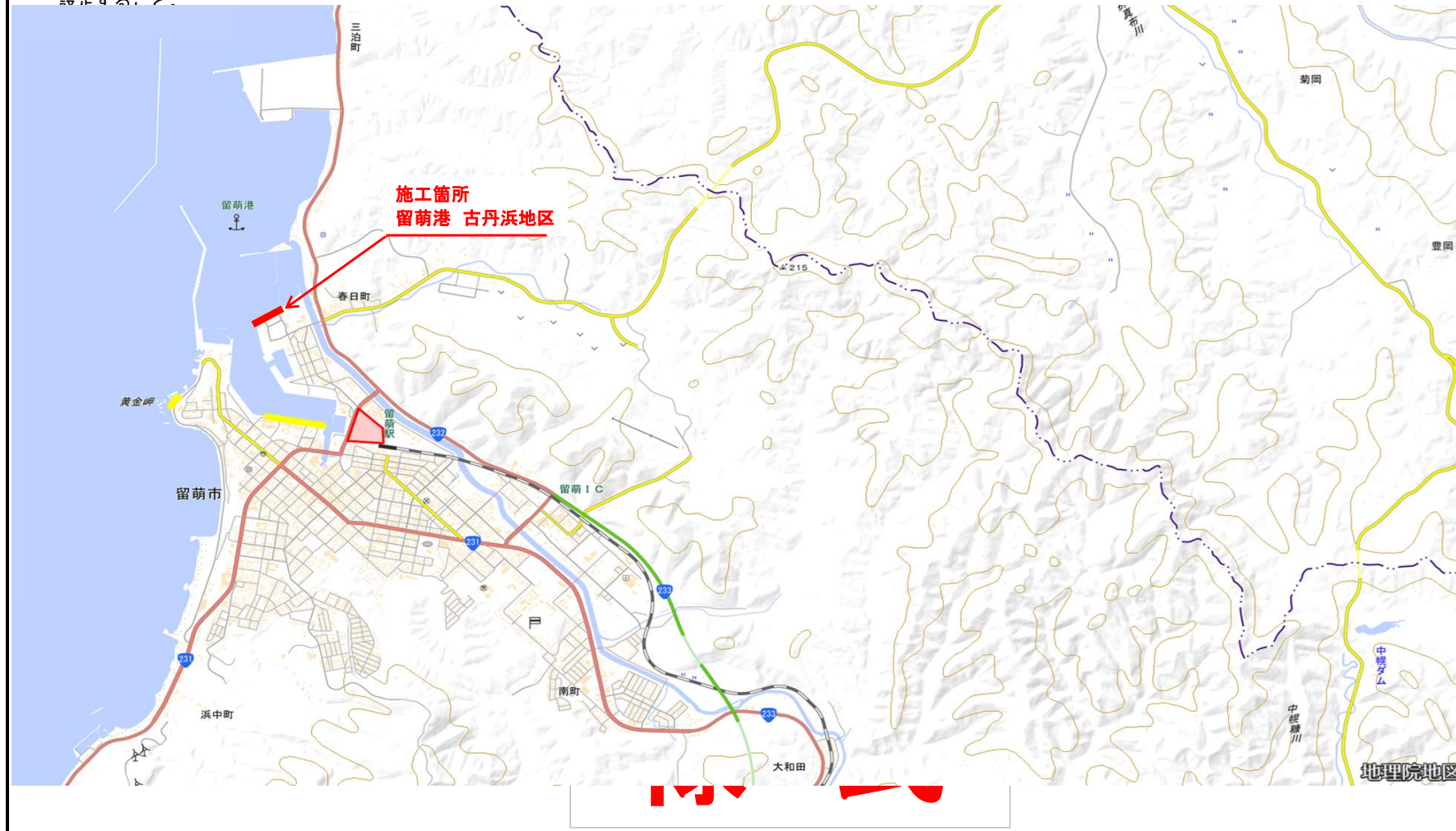
※工事箇所の住所については施工起点の左側の住所としています。

※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。



図面は上が北です

①位置図を貼り付け、凡例に示したオートシェイプをコピーして旗揚げ等を行ってください。位置図の縮尺については工事範囲、周辺状況等を考慮の上、適宜設定すること。

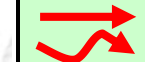


<凡例>
旗揚げ線

施工箇所

施工箇所

施工箇所塗り
・起点を示せる工事
(矢印の先が終点)



・起点を示せない工事
(区域を囲う)



建設副産物の仮置箇所

● 建設副産物の仮置場

残土処理場箇所・仮置箇所

▲○○場箇所

土取場箇所・発生土受渡箇所

▲○○場箇所

その他指定する箇所(仮設ヤード等)

□○○場箇所

輸送起点等

■○○起点

表示情報(表示している情報は■)

- ☐ 施工箇所・施工範囲
- ☐ 建設副産物の仮置箇所
- ☐ 残土処理場
- ☐ 仮置場
- ☐ 土取場
- ☐ 発生土受渡箇所
- ☐ 輸送起点箇所
- ☐ その他

備考